

～第1期受講生募集のご案内～

信州ものづくり 革新スクール

『ものづくりの“よい流れ”を創出する人材』を育成する
信州ものづくり革新スクールを開校いたします

募集期間

平成29年 6月1日(木)～7月31日(月)



長野県産業労働部・NPO諏訪圏ものづくり推進機構



「信州ものづくり革新スクール」が目指すもの

企業競争は益々激しい国際競争に直面しており、この競争に打ち勝つためには強い現場の構築が出来る人材の育成が必要です。また、我が国は急激な人口構成の変化の中で、AIやIoT分野など先進技術の進展が求められています。

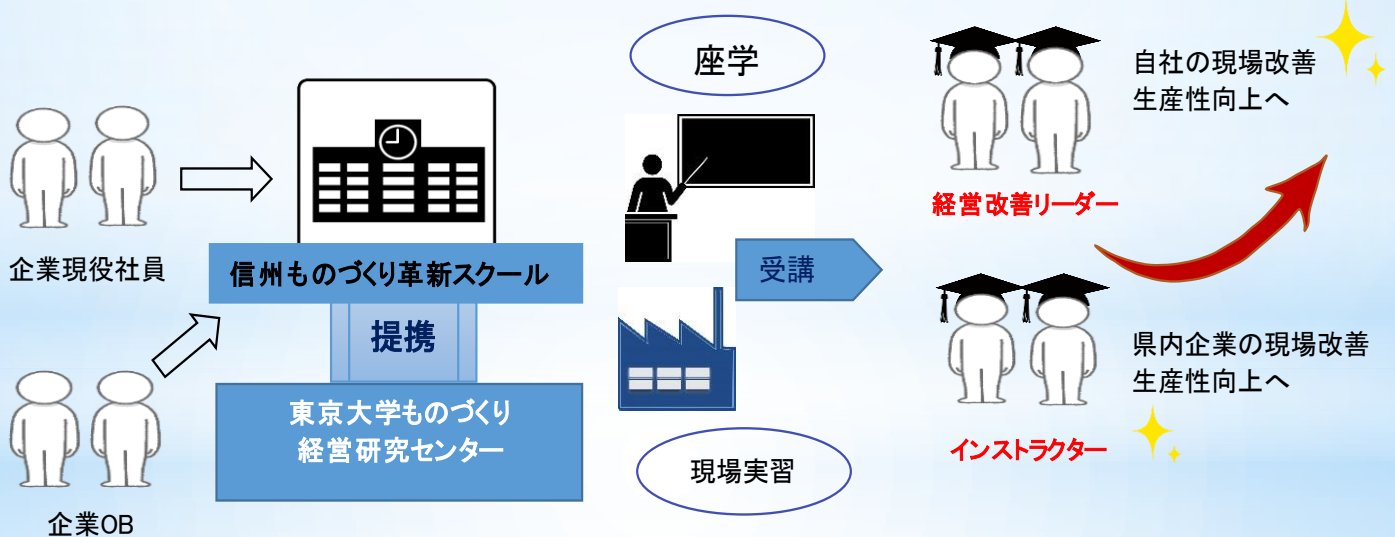
県内企業の経営基盤強化・安定を図るために、企業の持っている「ものづくり技術」を有効活用できる仕組み作りが出来る人材を育成することを目的に、「信州ものづくり革新スクール」を開設し、現役・企業OBを対象とした人材育成事業を行います。

「革新スクール」の概要

現場を改革し、格段に生産性を向上する人材を育成します。

- 企業の現場において将来を背負って立つ、責を担おうとしている現役の方
- 企業で長年ものづくりに取組み、現場を熟知し、退職されたOBの方

現役の方は、自社の現場改善・生産性向上に取り組めます。企業OBの方は自らの経験やノウハウを学び直し、県内中小企業に出向きインストラクターとして企業の現場改善・生産性向上を支援します。



本スクールでは、生産の流れや製造工程の流れで無駄のない「ものづくりの良い流れ」の理論と手法を身に付けることができます。又、本スクールは座学だけでなく、実際に製造現場において課題を抱えている企業に対し改善活動を行う等、実践的なものとなっており製造現場等において必要な知識を体感的に学ぶことができます。

尚、本スクールの修了者につきましては、インストラクター派遣事業への展開が予定されており、県内中小企業・小規模企業での生産革新や改善活動へ参加していただきます。

当スクールは「東京大学ものづくり経営研究センター」のバックアップのもと、部分的な改善活動ではなく、設計からものづくり現場まで、全体の流れを最適にすることを旨とする現場改革について学びます。藤本教授開発の「良い設計」の「良い流れ」を創出する体系的なプログラムに加え、実際の現場での改善実習で現場改善の技術や手法を学びます。

「東京大学ものづくり経営研究センター（MMRC）」
センター長：東京大学大学院経営学研究科 藤本隆宏教授

スクールの特徴

① 良い設計の良い流れづくり

東京大学ものづくり研究センターと共同開発した、講義、演習、現場実習からなるカリキュラムです。東京大学 藤本隆宏教授のものづくり理論「ものづくりの良い流れを作る」をベースにしたオリジナルテキストを使います。

② 実践的・体系的カリキュラム

工程の部分的な改善指導ではなく、設計から製造、物流までものづくりを体系的に学び、ものづくり全体を俯瞰できるインストラクターを育成します。座学・演習に加え実際に製造現場での実習等バランスよく組み合わせた現場密着・実践型プログラムです。

③ 豊富な講師陣

東京大学ものづくりインストラクターや、大手製造業出身者をはじめ経験豊富な講師陣が、また現場改善指導も現場支援経験豊富なインストラクターを務めます。

④ 継続的なフォロー

スクールの修了生に向けた、交流会やスキルアップ研修を行い相互研修やモチベーション向上を図ります。

講師紹介

春日宗夫

オリンパス(株)にて開発設計、製品立上、製造、品質保証業務など従事。日本能率協会「ものづくりOJTインストラクター養成コース」講師。
東大ものづくりインストラクター養成スクール修了(3期生)群馬ものづくり改善インストラクター講師など。

国谷晃雄

キヤノン(株)で取手工場生産技術部長、阿見工場で生産革新導入の基盤造、中国珠海キヤノン工場長を務めた。東大ものづくりインストラクター養成スクール修了(1期生)。茨城県中小企業振興公社テクノインストラクター、長岡などもものづくり改善インストラクター講師など。

森安夫 (スクール校長)

セイコーエプソン(株)にて生産設備製造・管理、ものづくり人材育成など担当。定年退職後、諏訪圏ものづくり推進機構企業体質強化部会部会長。
東大ものづくりインストラクター養成スクール修了(12期生)。信州ものづくり革新スクール推進責任者。

横山勝治

富士電機(株)にて、開発設計、半導体生産設備・ライン開発に従事。定年退職後、諏訪圏ものづくり推進機構企業体質強化部会専門アドバイザー。
東大ものづくりインストラクター養成スクール修了(12期生)。

井本達美

東洋運搬(株)、富士ゼロックス(株)において生産技術や治具・設備設計に従事。東大ものづくりインストラクター養成スクール修了(2期生)。
東京都生産性革新スクール講師。

雨宮利春

商社勤務後、経営コンサルタント・研修インストラクターとして独立。一般社団法人人材開発支援協会を設立。同協会代表理事。主な指導先三菱鉛筆、京王百貨店、西部鉄道、日本経営者協会等

平井勝則

セイコーエプソン(株)にて水晶振動子、光学事業の製造技術などに従事。定年退職後、池田町5Sプロジェクト、松本市5Sプロジェクトなど県内企業の5S改善指導。長野県中小企業振興センター専門家登録。諏訪圏ものづくり推進機構企業体質強化アドバイザー。

カリキュラム概要

概論 2日間	ものづくりの基礎概念	ものづくりインストラクターとしての基本姿勢と、『ものづくりは設計情報の創造・転写である』という基礎概念を理解します。
	競争力と 企業パフォーマンス	現場での、ものづくり組織能力の大切さと収益力、パフォーマンスの計り方を理解します。
	コストと生産性	原価企画と原価管理の仕組み、ムダと生産性向上の概念、コスト低減策を理解します。
	納期・工程・在庫管理	納期と背後にある生産数量・生産期間、それらの管理について基礎的な概念を理解します。
	フレキシビリティと 製品開発プロセス	フレキシビリティとは何か、その必要性、要素を学びます。開発における生産性、開発期間の短縮について理解します。
	IoTの基礎概念	IoTの基礎をわかりやすく学び、IoT等のツールを活用したものづくり現場の生産性向上を図るための理解を深めます。
手法 7日間	IE・標準作業と標準時間設定	現場の作業改善の基本であるIEを学びます。現場管理の基礎である標準作業と標準時間について理解します。
	5S・3定 効率生産 TPM	企業体質の改善に有効である5S・3定について学びます。効率的なものづくりについて学び、そのための設備管理技術を理解します。
	VA・VE 不良削減とポカヨケ	現場で現物をベースにコスト削減する方法を学びます。不良削減の価値を知り、問題を正しく捉えて後戻りしない策を理解します。
	コミュニケーションの基本	お互いの信頼関係の上に、相手の立場を理解し自分の考え方を伝えるポイントを理解します。
	インストラクティングの基本	現場の従業員と協力しながら、効果を上げるための進め方を理解します。
	モノと情報の流れ図(VSM)	モノと情報の流れを、VSM図に落とし込み、見えにくいものを見えるようにする手法について理解します。
	からくり講座	作業や設備に物を供給・回収する「からくり改善」の事例を通して、定義や基本機構を理解します。
	問題解決	問題解決手法とその手順を、講座と演習によって理解します。
	品質管理・QC7つ道具	「ものづくり」で取り上げる品質の範囲と定義、品質管理のアプローチ、現場での兆候の発見方法などを理解します。
現場実習 9日間	現場実習	企業の現場における問題点を見つけ、改善策を検討する実習をチームで行います。
	チームディスカッション 改善・改良案の施策検討	チームによるディスカッションで、現場分析から改善策までの検討を行います。
	改善案の提案(実習先)	チームごとに現場実習先の企業に改善案を提案します。
	改善案の提案(チーム発表)	現場実習先の改善案をチーム間で発表します。
成果発表 1日間	定石発表(個人案の提案)	受講生が経験した課題に対する、定石的改善策を発表します。

カリキュラム

会場および時間など、都合により変更することがあります。
その際は事前に連絡いたします。

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
9月27日	水	開講式 講座ガイダンス 事務局	ものづくり基礎概念 森			競争力と企業パフォーマンス 横山		コストと生産性 森	
9月28日	木		納期・工程・在庫管理 森			フレキシビリティ、製品開発プロセス 横山		IoTの基礎概念 横山	
10月4日	水		IE、標準作業と標準時間設定 井本				IE、標準作業と標準時間設定 井本		
10月5日	木		5S3定、効率生産、TPM 平井				5S3定、効率生産、TPM 平井		
10月11日	水		VA・VE 不良削減とポカヨケ 春日				VA・VE 不良削減とポカヨケ 春日		
10月12日	木		コミュニケーションの基本 雨宮				インストラクティングの基本 雨宮		
10月18日	水		ものと情報の流れ図(VSM) 国谷				ものと情報の流れ図(VSM) 国谷		
10月19日	木		からくり講座 横山			実習ガイダンス 事務局	定石の説明 横山	問題解決 井本	
10月25日	水		品質管理・QC7つ道具 春日				品質管理・QC7つ道具 春日		
10月26日	木		実習ガイダンス 春日				実習企業見学 春日・井本・横山	進め方検討	
11月1日	水		現場実習 春日・井本・横山				現場実習 春日・井本・横山		
11月2日	木		チームディスカッション 春日・井本・横山				チームディスカッション 春日・井本・横山		
11月8日	水		現場実習 春日・井本・横山				現場実習 春日・井本・横山		
11月9日	木		チームディスカッション 春日・井本・横山				チームディスカッション 春日・井本・横山		
11月15日	水		現場実習 春日・井本・横山				現場実習 春日・井本・横山		
11月16日	木		改善案検討・作成 春日・井本・横山				改善案検討・作成 春日・井本・横山		
11月22日	水		発表資料のまとめ				改善策の提案		
11月29日	水		改善策の提案(実習先)				改善策の提案(実習先)		
11月30日	木		改善策の提案(チーム発表)				改善策の提案(チーム発表)・定石発表(個人発表) 閉講式(修了証授与)		

第1期受講生 募集要項

開講期間 2017年9月27日(水)～11月30日(木)毎週水・木曜日 延べ19日間

募集期間 2017年6月 1日(木)～ 7月31日(月)

場 所 座 学 10日間 諏訪市商工会館など
実 習 9日間 県内(諏訪圏域)実習先企業

募集定員 12名程度

募集対象 **企業OB** ・大手、中堅製造業の工場などで現場の経験豊富な方
・スクール終了後、インストラクターとして県内企業への派遣支援活動が可能な方

企業現役 ・県内の製造業等の現場責任者、または幹部候補の方

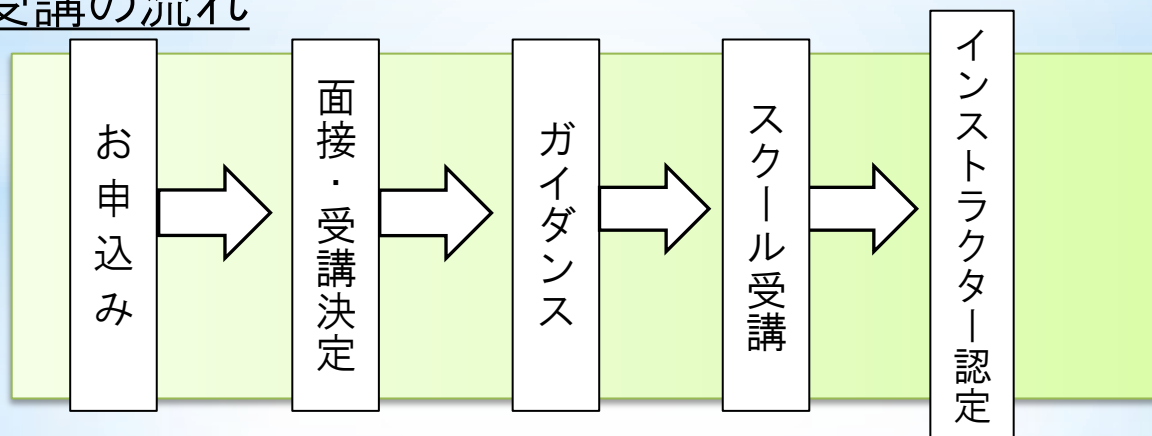
申込方法 所定の申込用紙に職務経歴書を添付して、NPO諏訪圏ものづくり推進機構まで郵送、持参または電子メールでご提出ください

受講料 **企業OB** 10万円

企業現役 25万円

修了要件 出席率が概ね全体の8割に満たない場合、修了の認定を行わないことがあります(ただし現場実習には、9割以上の出席が必要です)

申込・受講の流れ



全カリキュラムを履修し、一定の基準に達したものは「長野県ものづくり革新インストラクター」として認定します

現場改善実習の受け入れ企業を募集しています

カリキュラム後半の現場実習(10月26日～11月15日の間の4日)に、自社現場を開放いただける企業は、「現場実習受入連絡書」をご提出ください。受講生申込の有無とは別に、現場実習受入の希望も受け付けています。

NPO諏訪圏ものづくり推進機構

TEL 0266-54-2588 FAX 0266-54-5133

E-mail : kaizen@suwamo.jp

〒392-0023 長野県諏訪市小和田南14-7(諏訪商工会館内)

担当 樋口

